

令和元年度

農業・農村基本計画意向調査結果

(消費者意向調査)

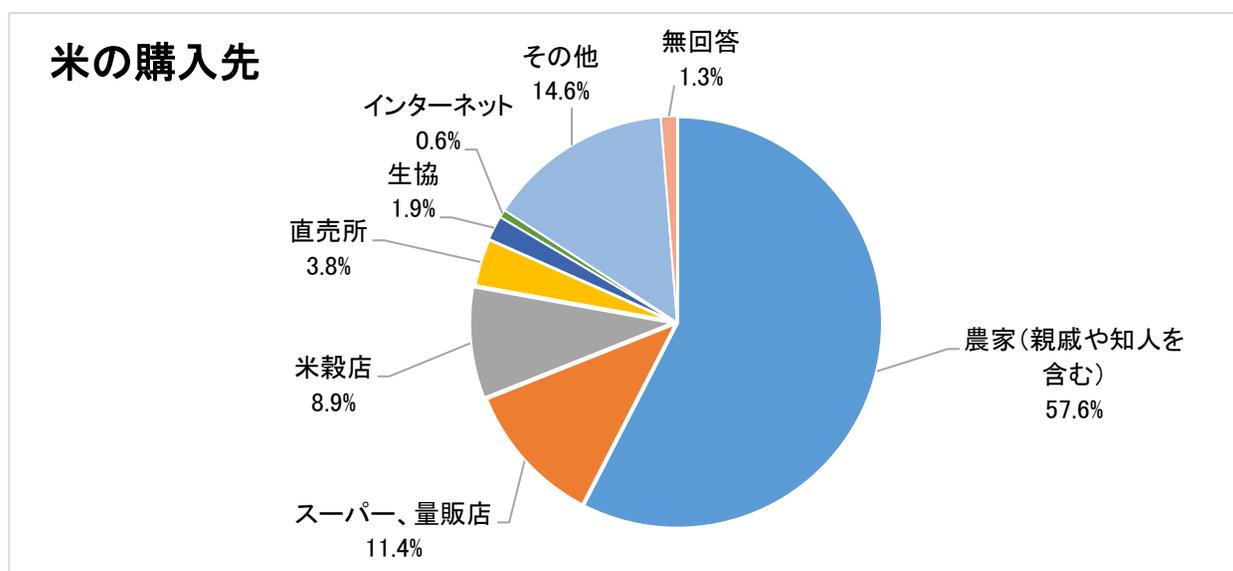
調査概要

- (1)実施期間 令和元年7月12日(金)～令和元年7月31日(水)
- (2)回収状況
- ・配布数 400戸(一般市民300戸,観光業者40戸,商工業者40戸,福祉事業者20戸)
 - ・回答者 158戸
 - ・回収率 39.50%

新潟県妙高市

<<米や生鮮野菜の購買動向について、おたずねします>>

問1 あなたの家庭(事業所)では、主にどこで米を購入していますか。

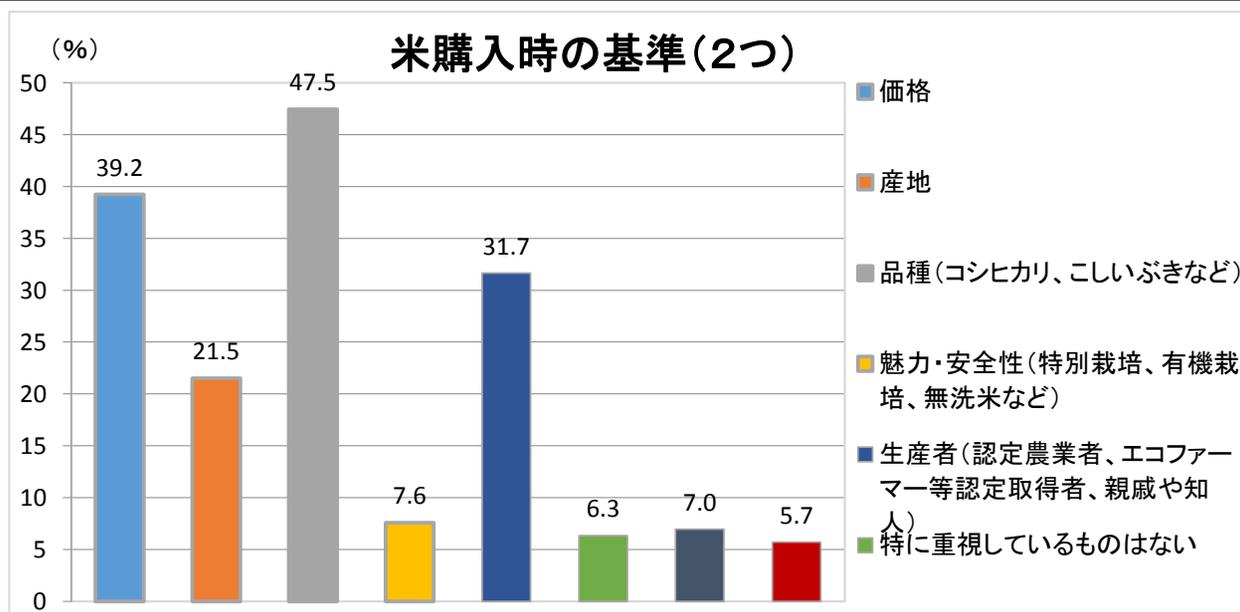


・「農家(親戚や知人を含む)」が57.6%で最も高く、次いで「スーパー、量販店」が11.4%となっている。

【主なその他意見】

・自分で作っている ・農業協同組合 ・農事組合法人

問2 あなたの家庭(事業所)では、米を購入するとき、何を重視していますか。(2つ)

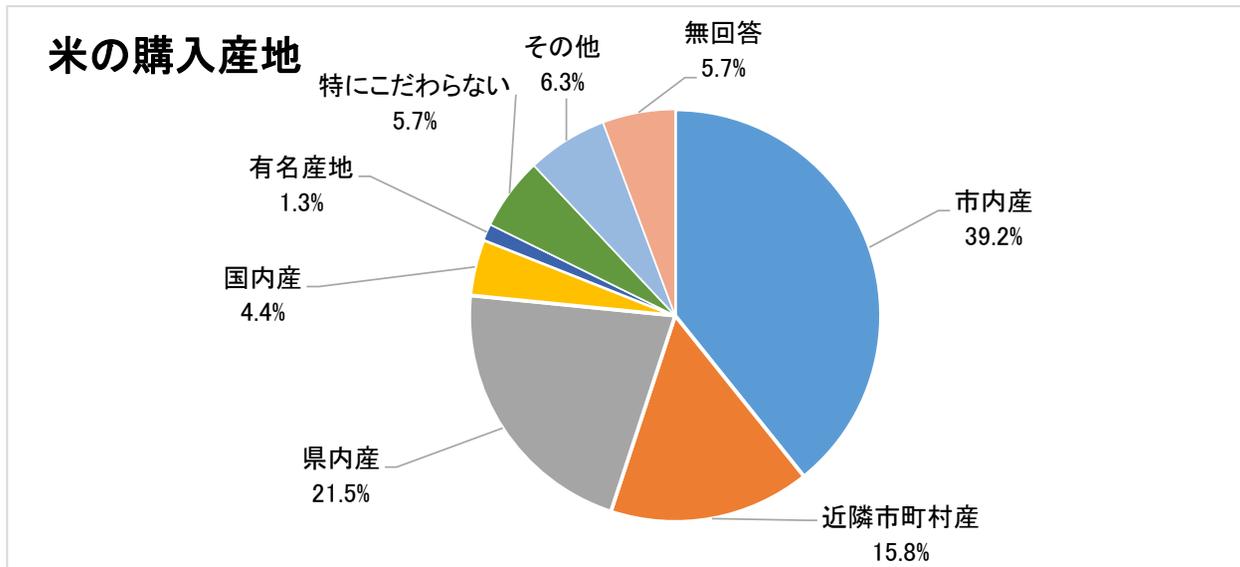


・「品種」が47.5%と最も高く、次いで「価格」が39.2%、「生産者」が31.7%となっている。

【主なその他意見】

・自分で作っているため購入していない ・食味

問3 あなたの家庭(事業所)では、米を購入するとき、どの産地を優先していますか。

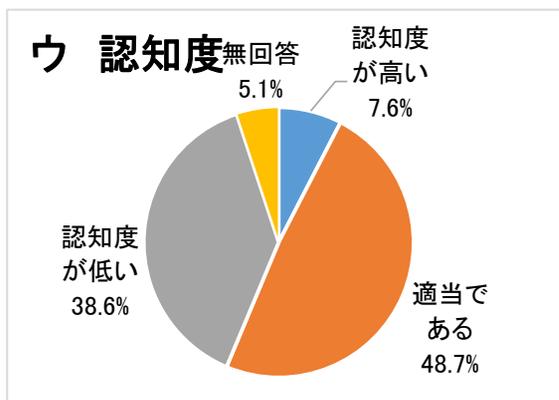
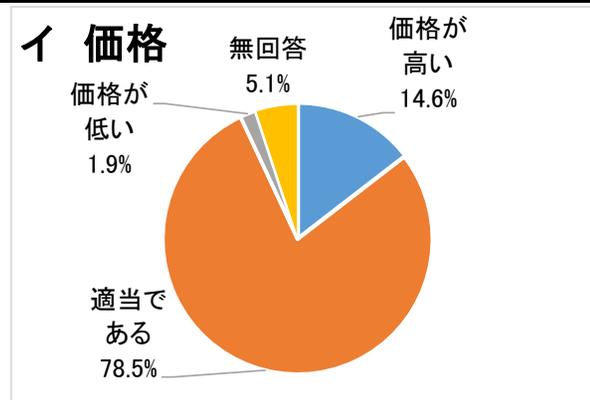
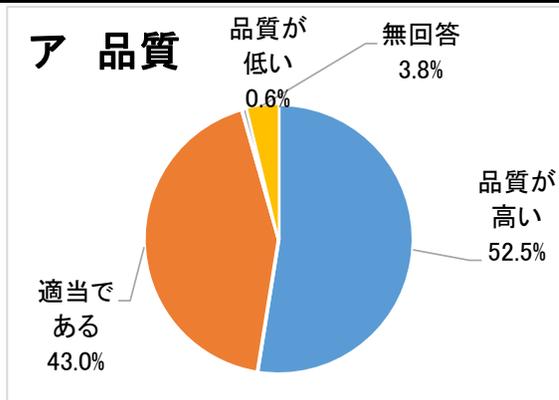


・「市内産」が39.2%と最も高く、次いで「県内産」が21.5%、「近隣市町村産」が15.8%となっている。

【主なその他意見】

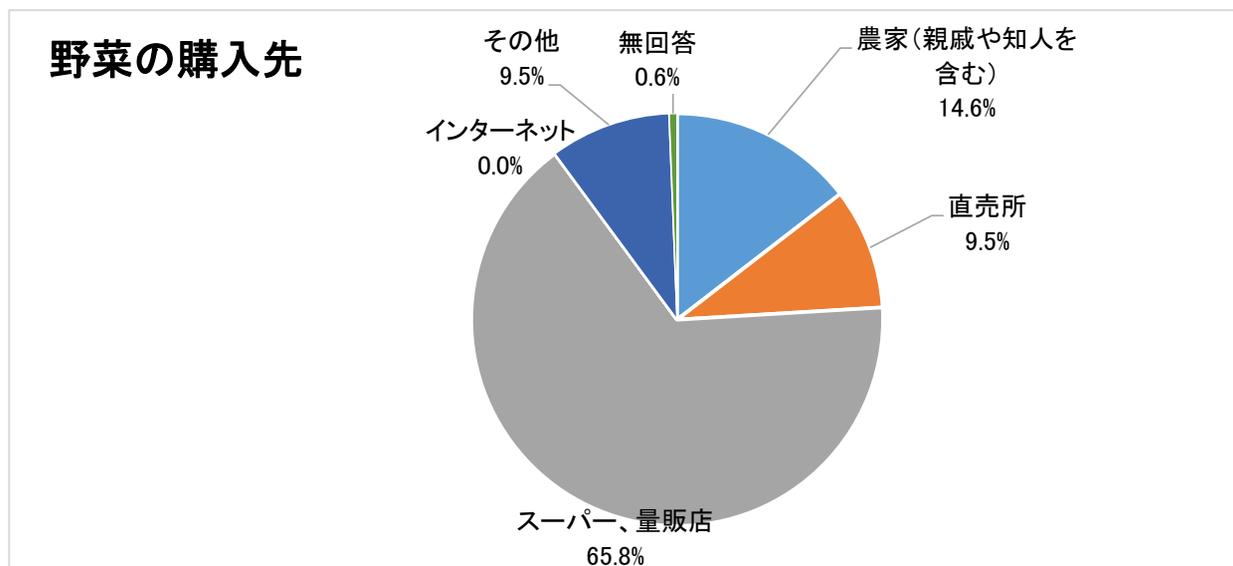
- ・自分で作っているため購入していない
- ・親族、知り合いからもらうため購入していない

問4 あなたは、妙高市産の米について、どのような印象をもっていますか。



- ・品質については、「品質が高い」が52.5%となっている。
- ・価格については、「適当である」が78.5%となっている。
- ・認知度については、「適当である」が48.7%、次いで「認知度が低い」が38.6%となっている。

問5 あなたの家庭(事業所)では、主にどこで生鮮野菜を購入していますか。

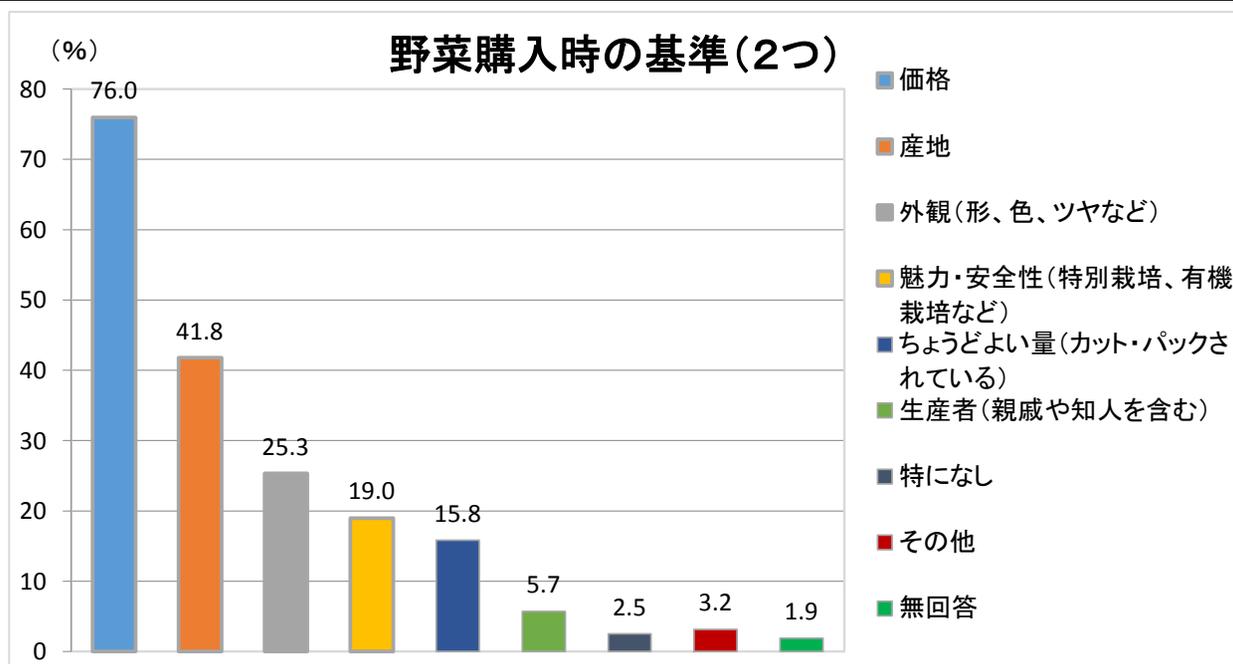


・「スーパー、量販店」が65.8%と最も高くなっている。「直売所」は9.5%となっている。

【主なその他意見】

・自分で作っている(不足する場合は、主にスーパー) ・宅配サービス ・業者

問6 あなたの家庭(事業所)では、生鮮野菜を購入するとき、何を重視していますか。(2つ)

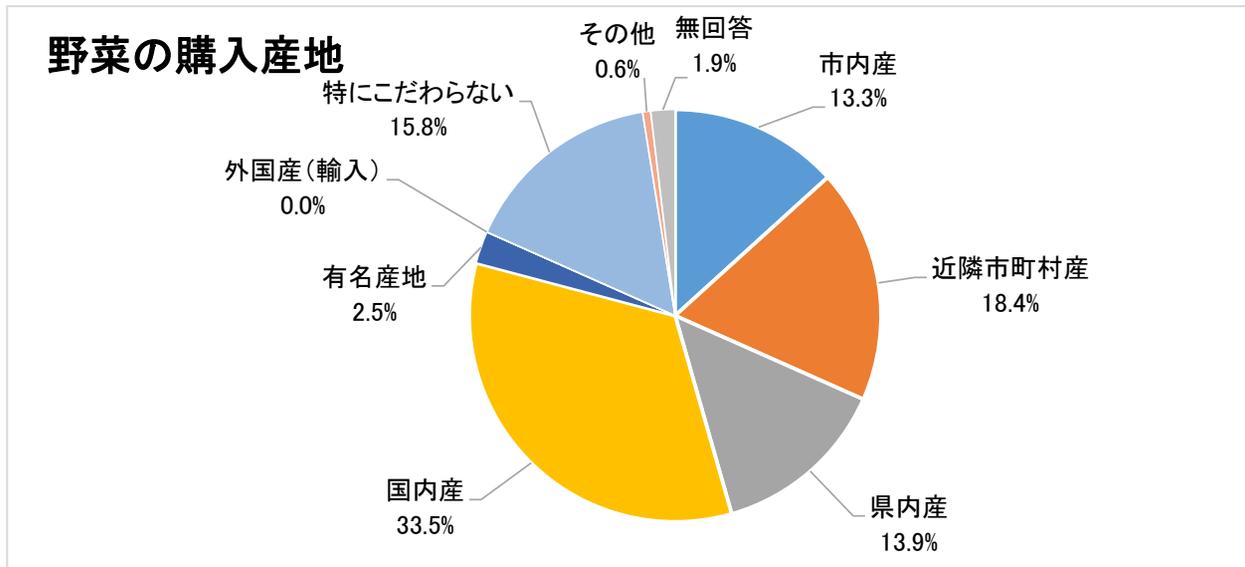


・「価格」が76.0%と最も高く、次いで「産地」が41.8%、「外観」が25.3%となっている。

【主なその他意見】

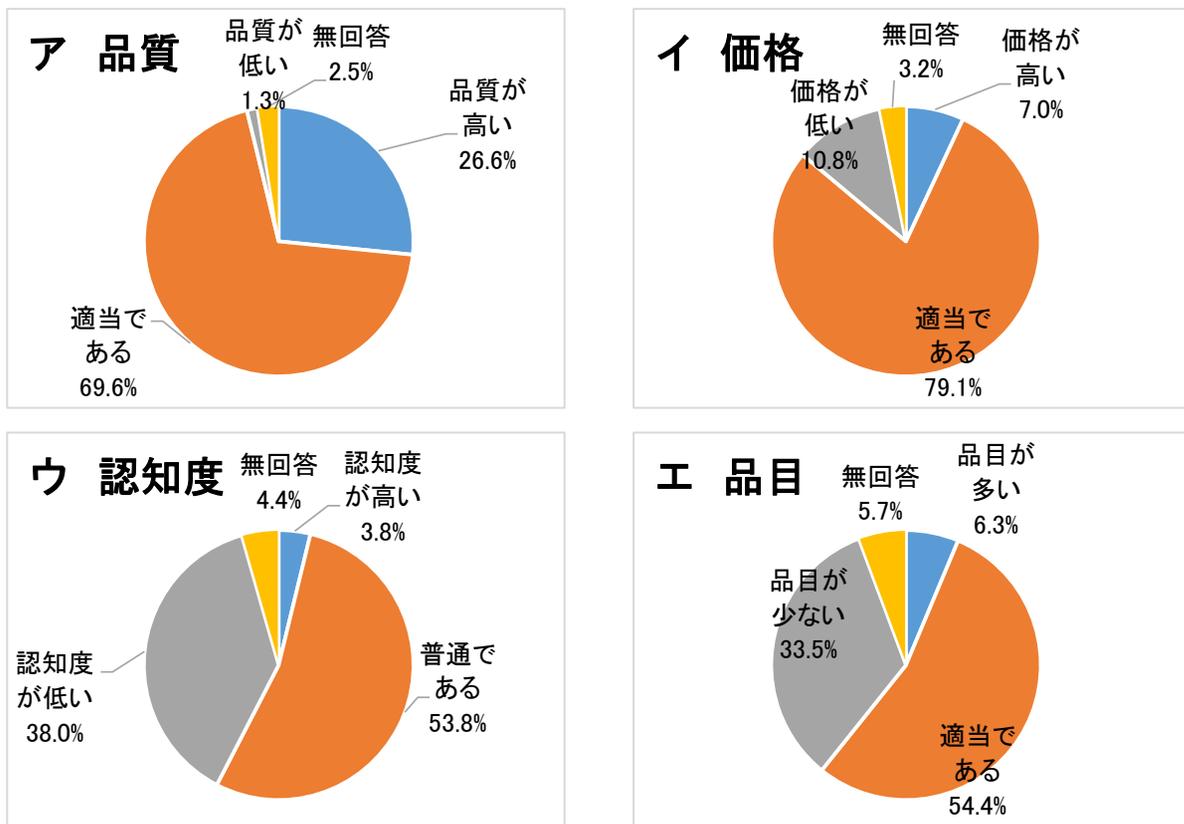
・鮮度 ・食味

問7 あなたの家庭(事業所)では、生鮮野菜を購入するとき、どの産地を優先していますか。



・「国内産」が33.5%と最も高く、次いで「近隣市町村産」が18.4%、「特にこだわらない」が15.8%となっている。

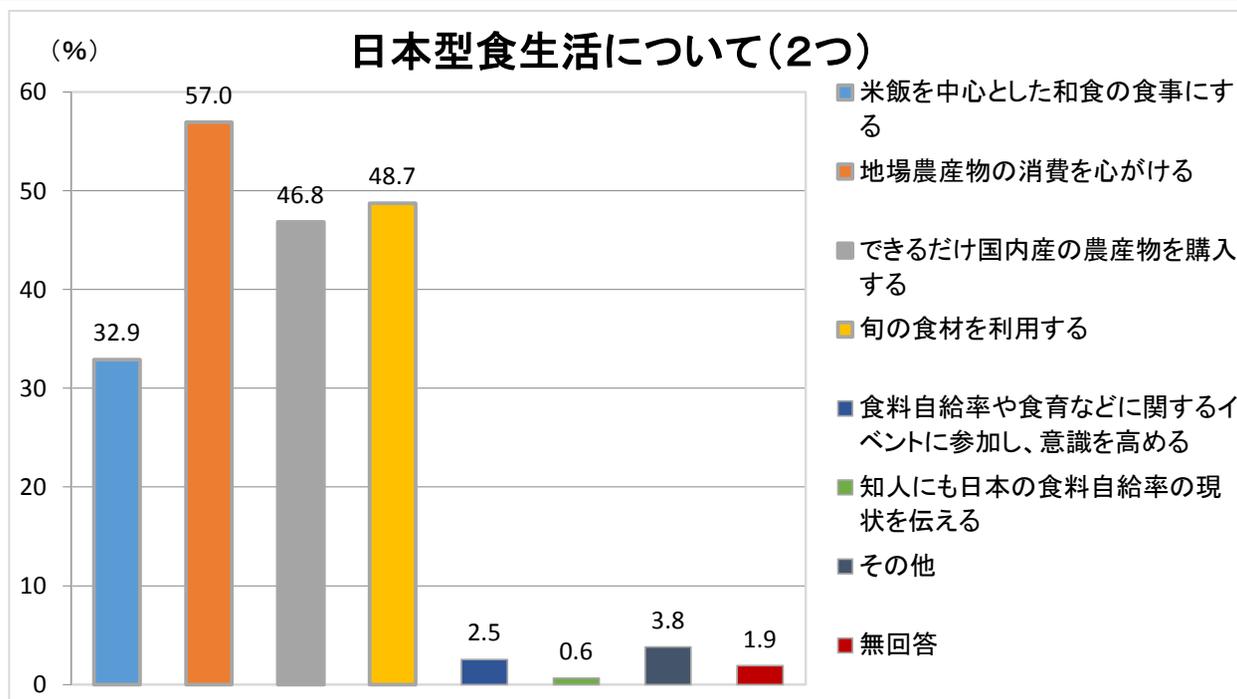
問8 あなたは、妙高市産の生鮮野菜について、どのような印象をもっていますか。



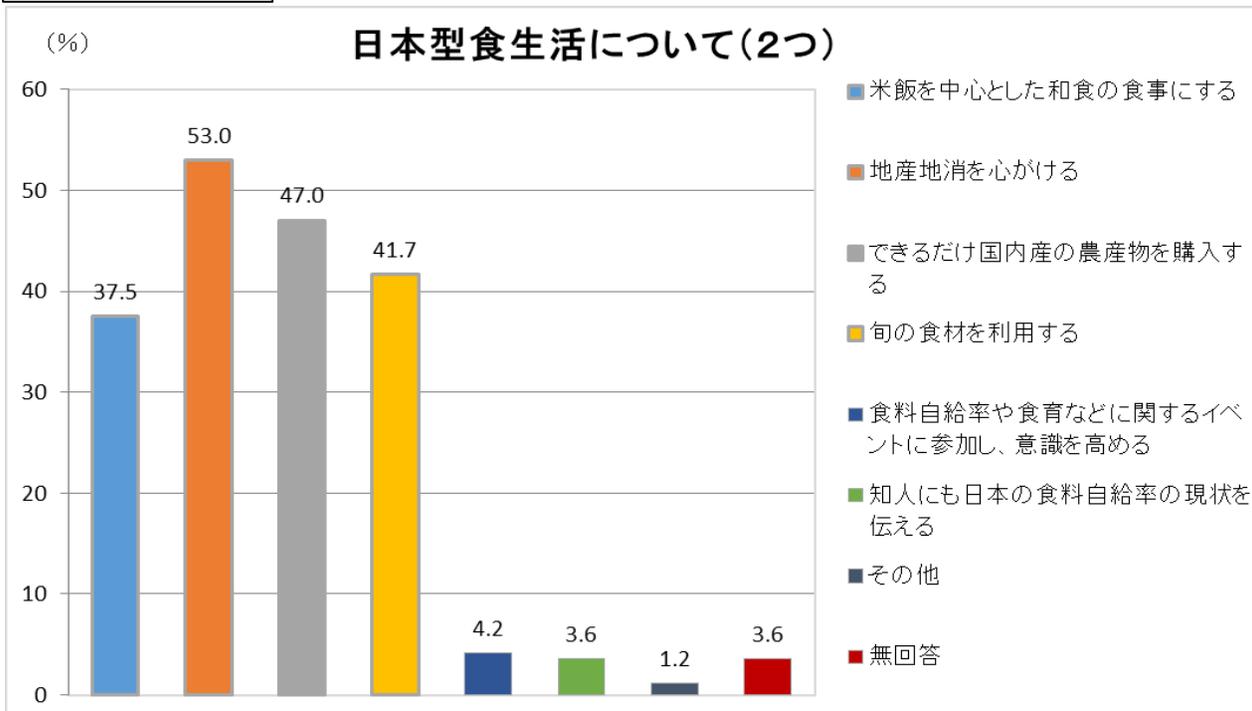
- ・品質については、「適当である」が69.6%となっている。
- ・価格については、「適当である」が79.1%となっている。
- ・認知度については、「普通である」が53.8%であり、「認知度が低い」の38.0%を上回っている。
- ・品目については、「適当である」が54.4%であり、「品目が少ない」の33.5%を上回っている。

＜＜食料自給率について、おたずねします＞＞

問9 現在、国の食料自給率(カロリーベース)は39%程度ですが、食料自給率を高めるため、あなたの家庭(事業所)で何に取り組むことができると思いますか。(2つ)

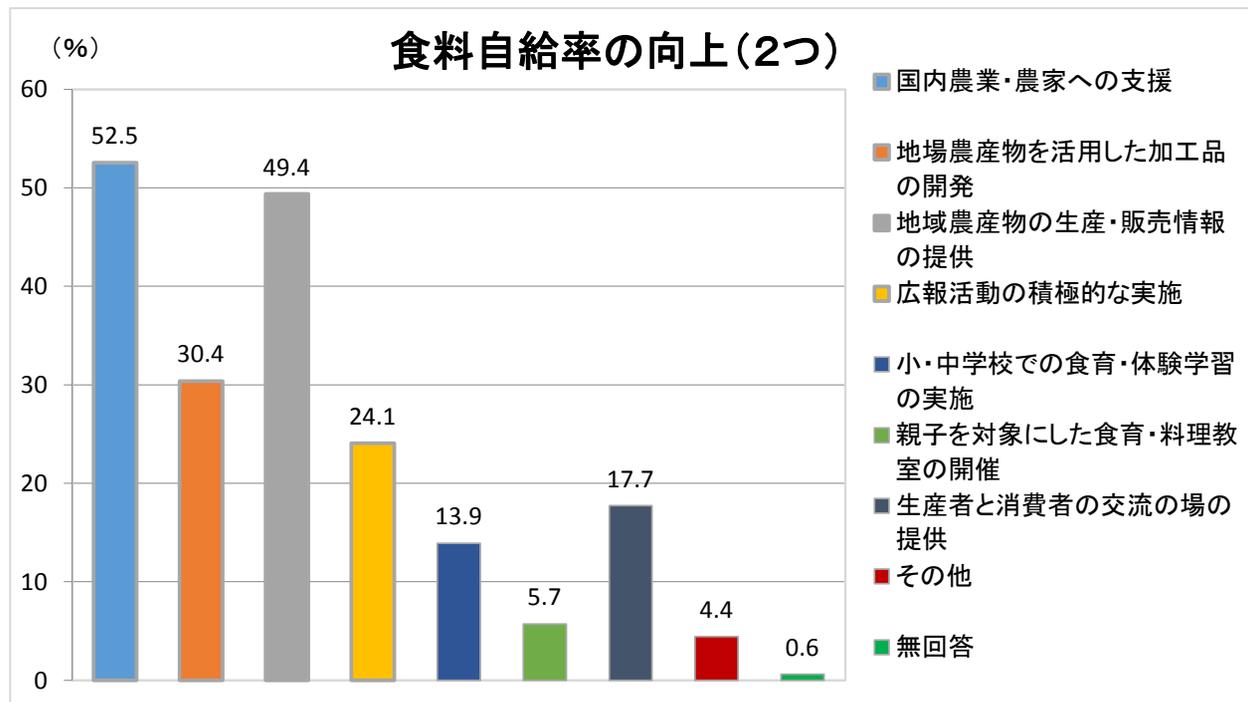


参考(H27調査)



・H27と同様に、「飯米を中心とした和食」、「旬の食材」、「地産地消」、「できるだけ国内産を購入する」が30%を上回っている。

問10 食料自給率を高めるため、行政(国・県・市)は何を行うとよいと思いますか。(2つ)



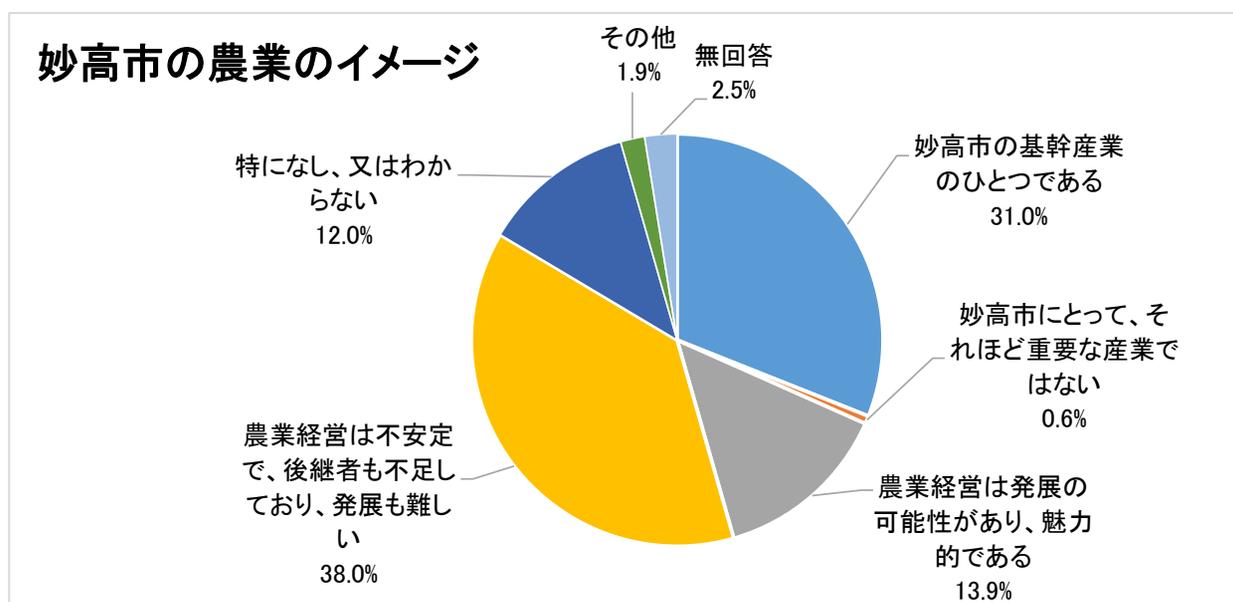
・「国内農業・農家への支援」が52.5%と最も高く、次いで「地域農産物の生産・販売情報の提供」が49.4%となっている。

【主なその他意見】

- ・近くに直売所がほしい
- ・地産地消をアピールするためのイベントを行う
- ・郷土料理(田舎料理)を学べるワークショップの開催
- ・水耕栽培等農作地が無くても生産できる工場・施設の増設、又、そこから直接購入できる施設の併設など

＜＜妙高市の農業について、おたずねします＞＞

問11 あなたは、妙高市の農業に対して、どのようなイメージをもっていますか。

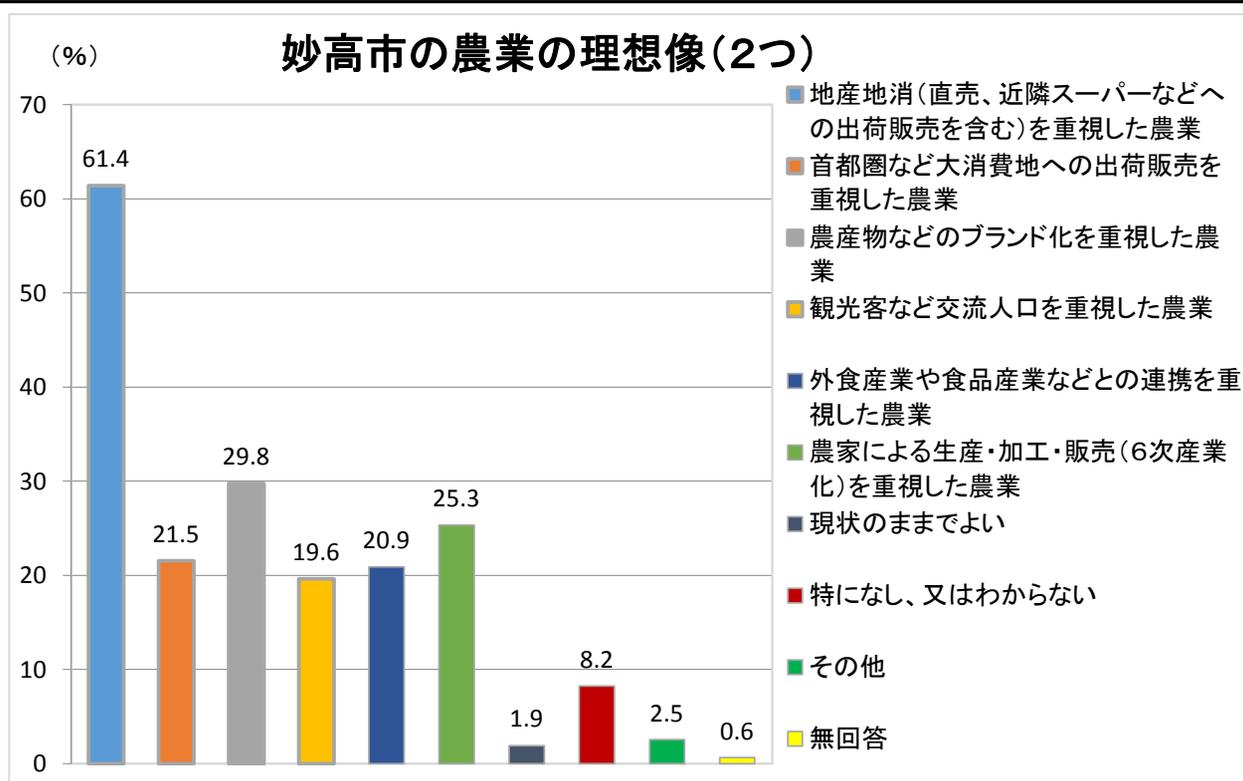


・「農業経営は不安定で、後継者も不足しており、発展も難しい」が38.0%と最も高く、次いで「妙高市の基幹産業である」が31.0%となっている。

【主なその他意見】

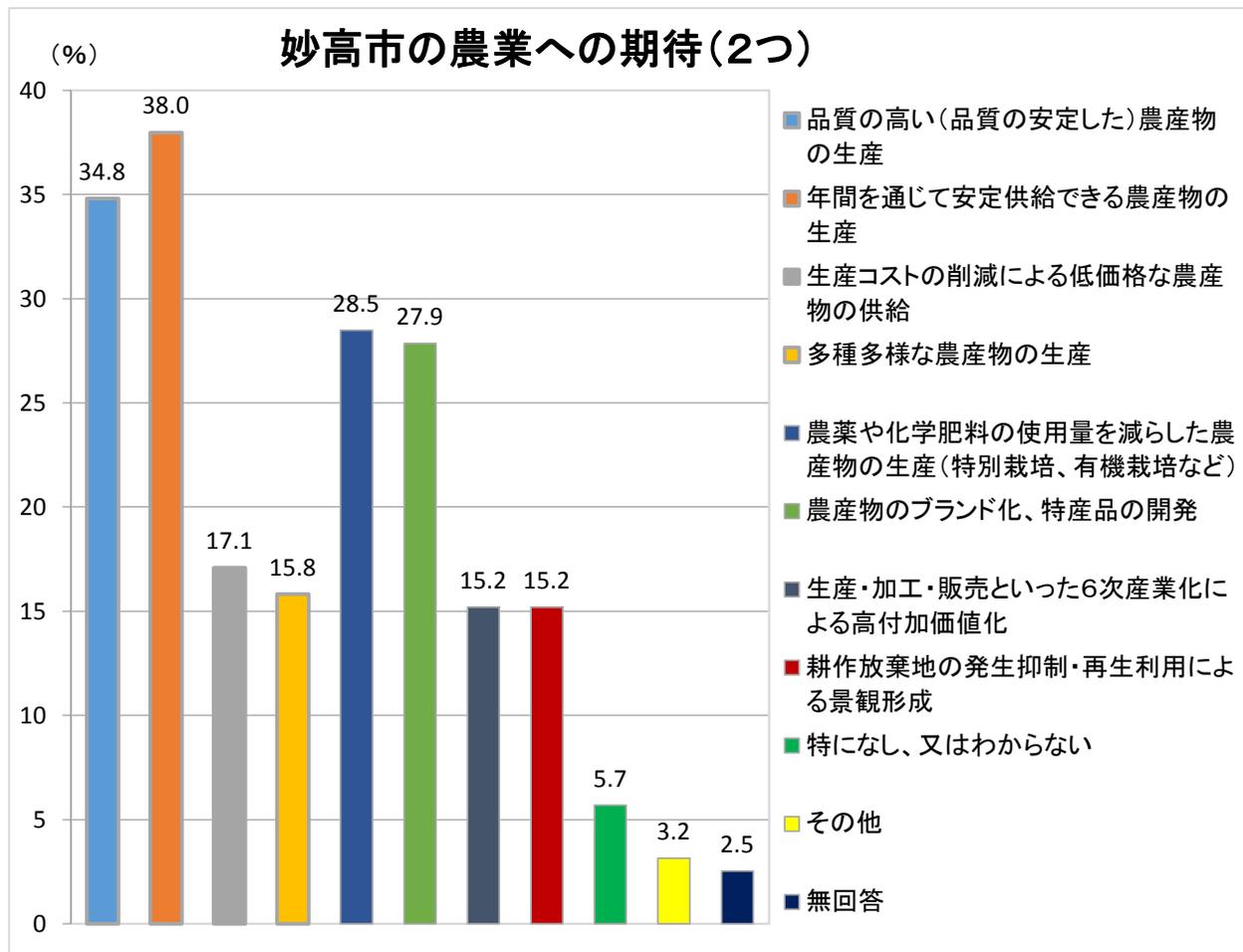
- ・品質は良いと思うが、アピール、売り方が追い付いていない

問12 妙高市の農業は、どのような姿になることが望ましいと思いますか。(2つ)



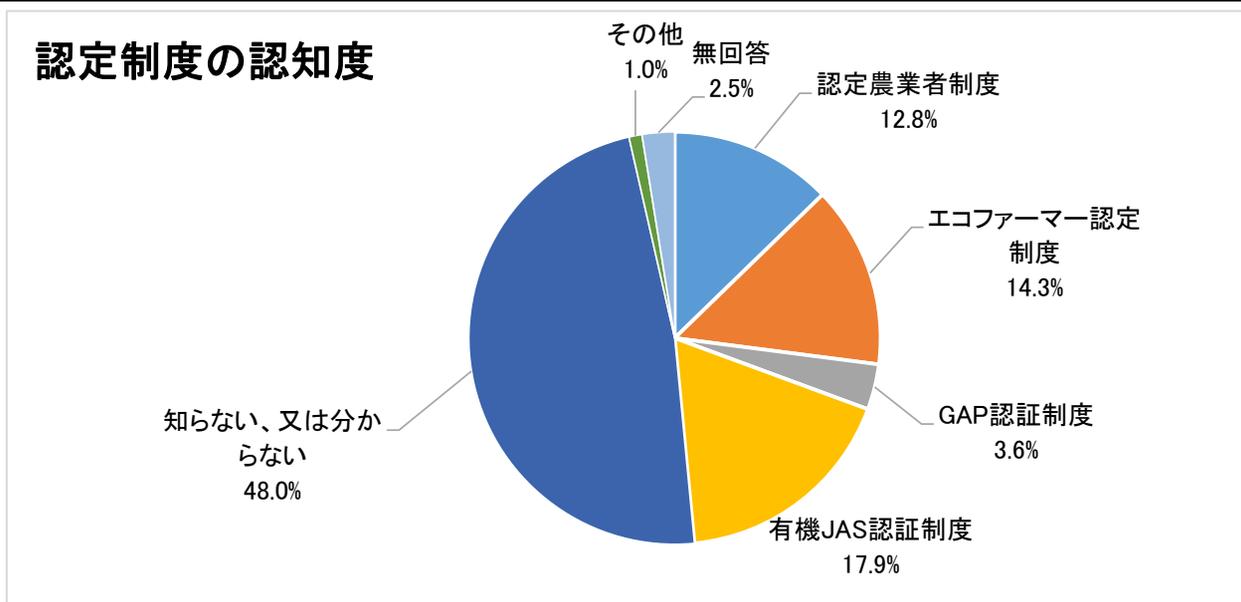
・「地産地消(直売、近隣スーパーなどへの出荷販売を含む)を重視した農業」が61.4%と最も高く、次いで「農産物などのブランド化を重視した農業」が29.8%となっている。

問13 あなたは、妙高市の農業に対して、どのようなことを期待しますか。(2つ)



・「年間を通じて安定供給できる農産物の生産」が38.0%と最も高く、次いで「品質の高い(品質の安定した)農産物の生産」が34.8%となっている。

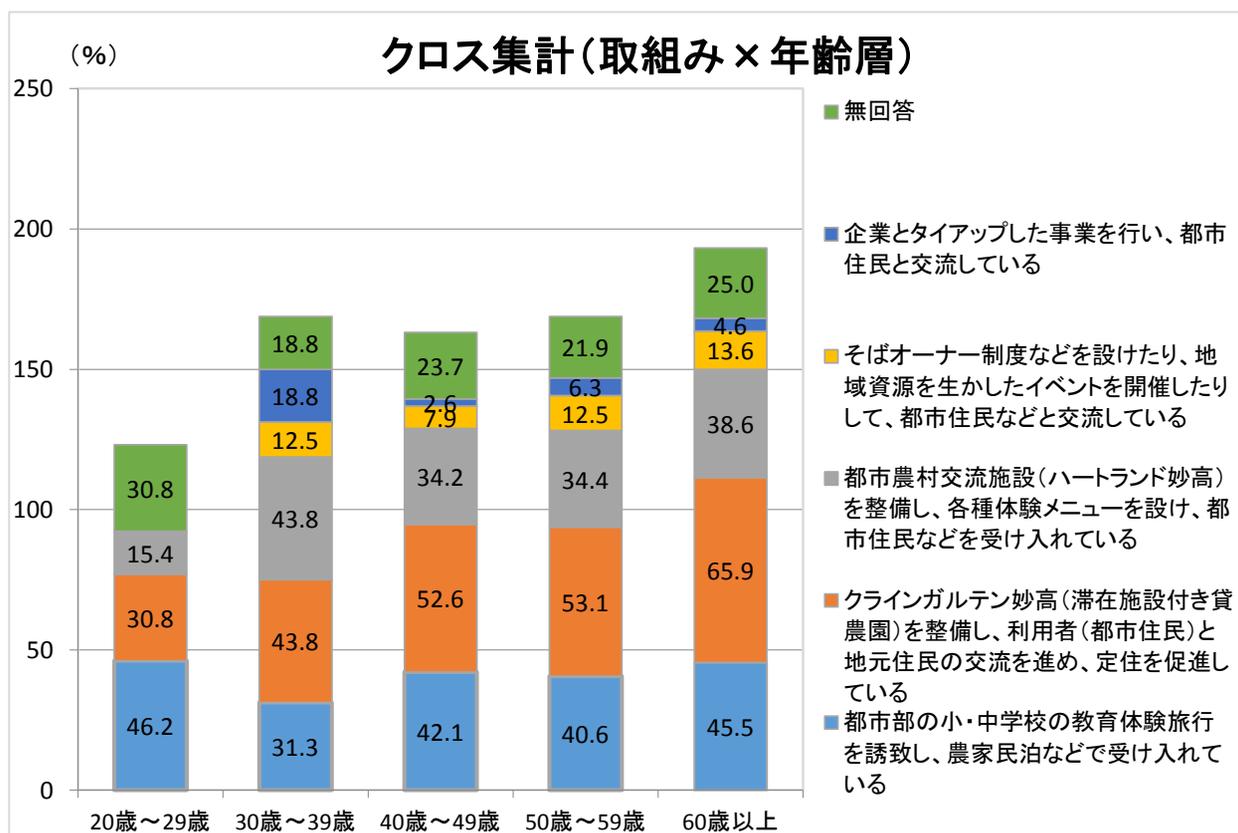
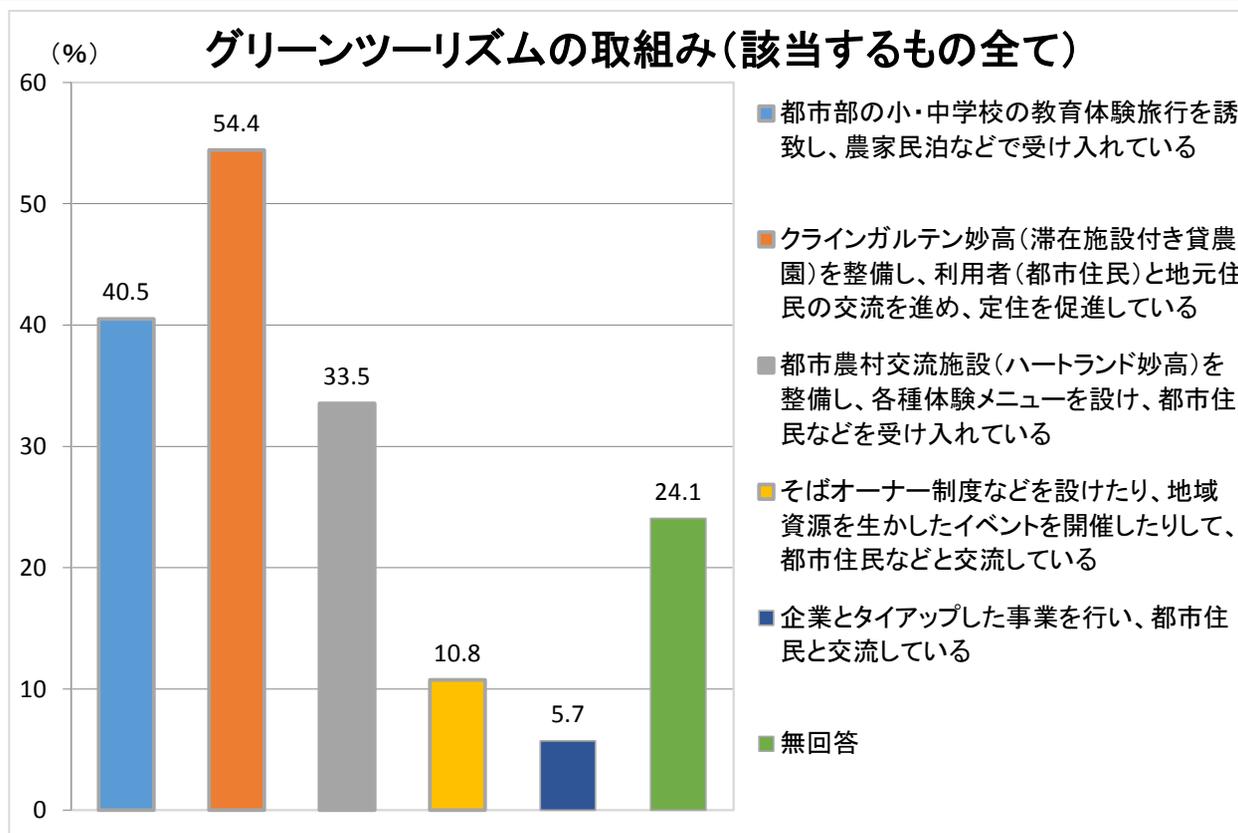
問14 安心・安全な農作物を提供するため、一定水準を満たした農業者を認定する様々な制度が存在していますが、ご存知の認定制度はありますか。(該当するもの全て)



・およそ半数が「知らない、分からない」と答えている。

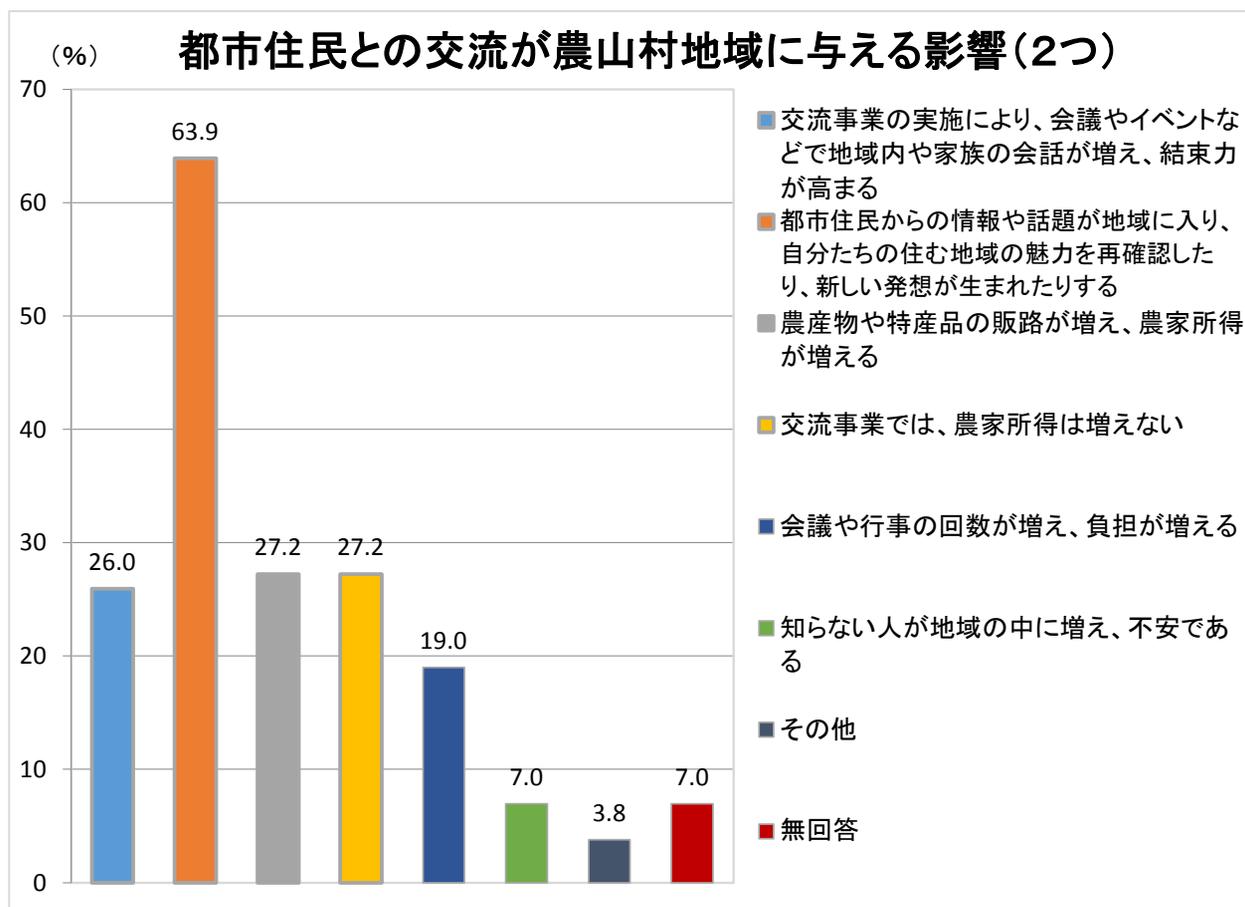
＜＜グリーンツーリズムについて、おたずねします＞＞

問15 妙高市が行っているグリーンツーリズムの取組みについて、あなたが知っているものは何ですか。(該当するもの全て)



- ・「クラインガルテン妙高を整備し、利用者と地元住民の交流を進め、定住を促進している」が54.4%で最も高くなっている。
- ・年齢別にみると、全体と比べ20代～30代の認知度が比較的低いと思われる。

問16 あなたは、都市住民との交流が農山村地域にどのような影響を与えますか。(2つ)



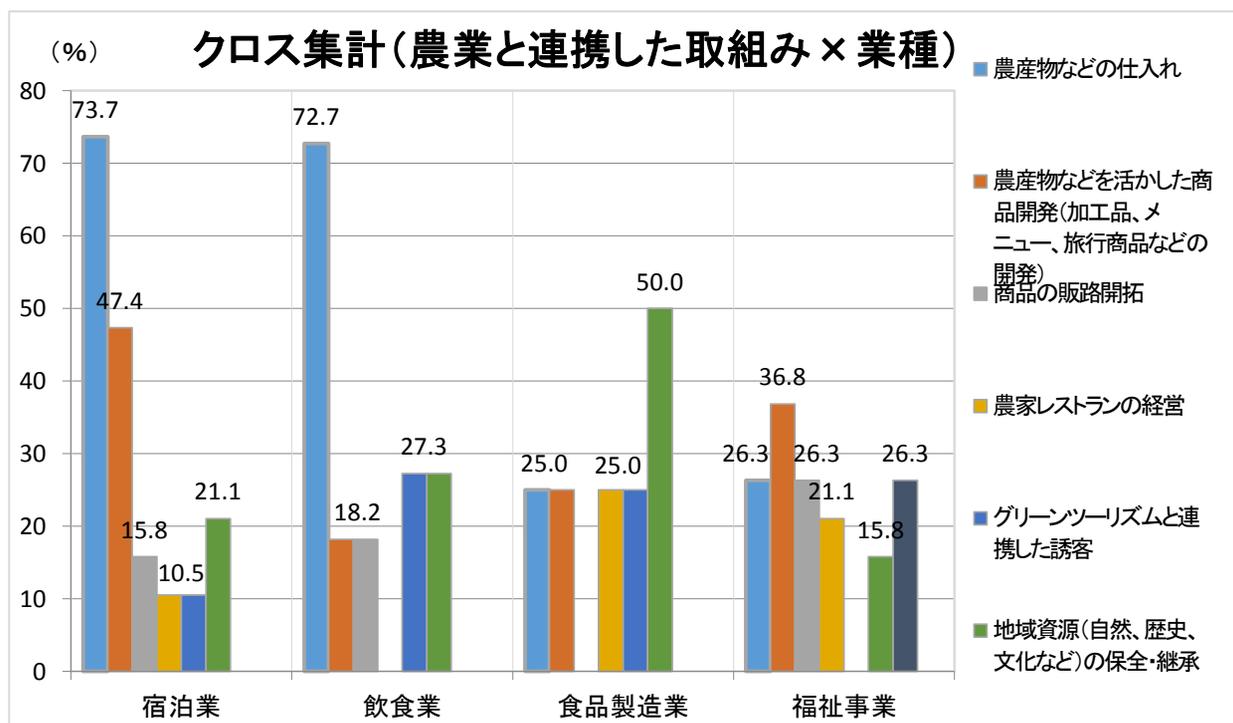
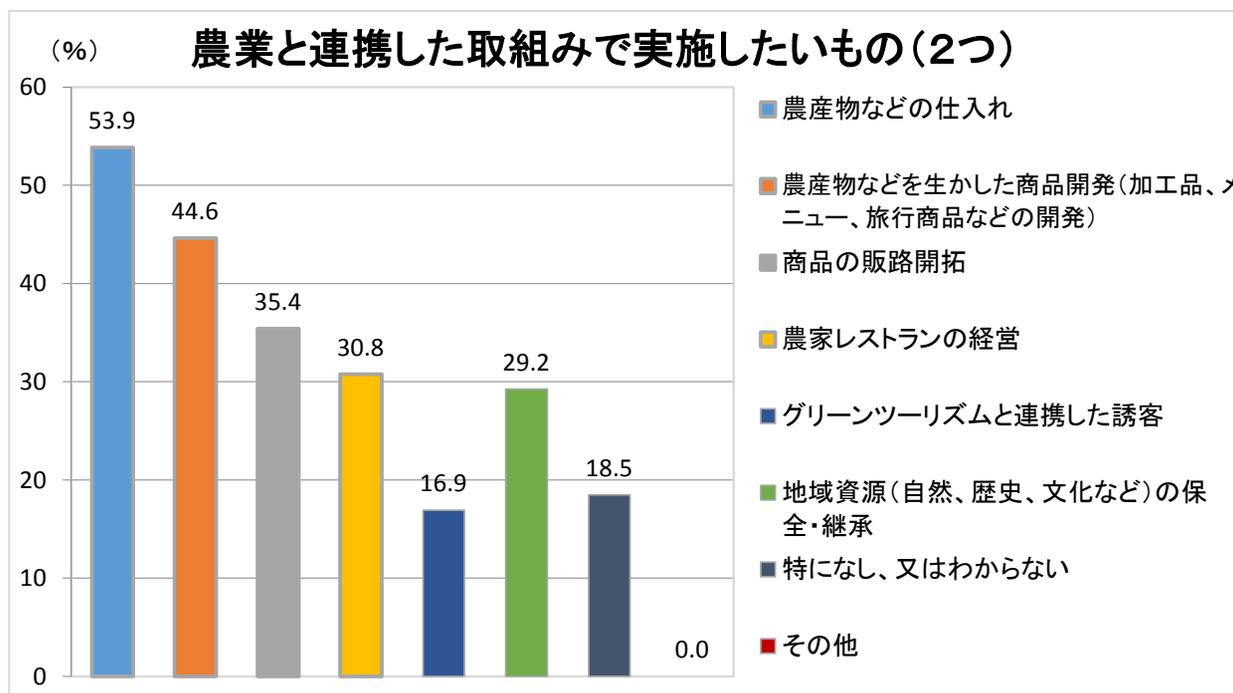
- ・「都市住民からの情報や話題が地域に入り、自分たちの住む地域の魅力を再確認したり、新しい発想が生まれたりする」が63.9%と最も高く、次いで「農産物や特産品の販路が増え、農家所得が増える」が27.2%となっている。

【主なその他意見】

- ・地名や体験したことを多少記憶に残してもらえる程度で終わってしまうのでは。

<<観光業者・商工業者の方のみにおたずねします>>

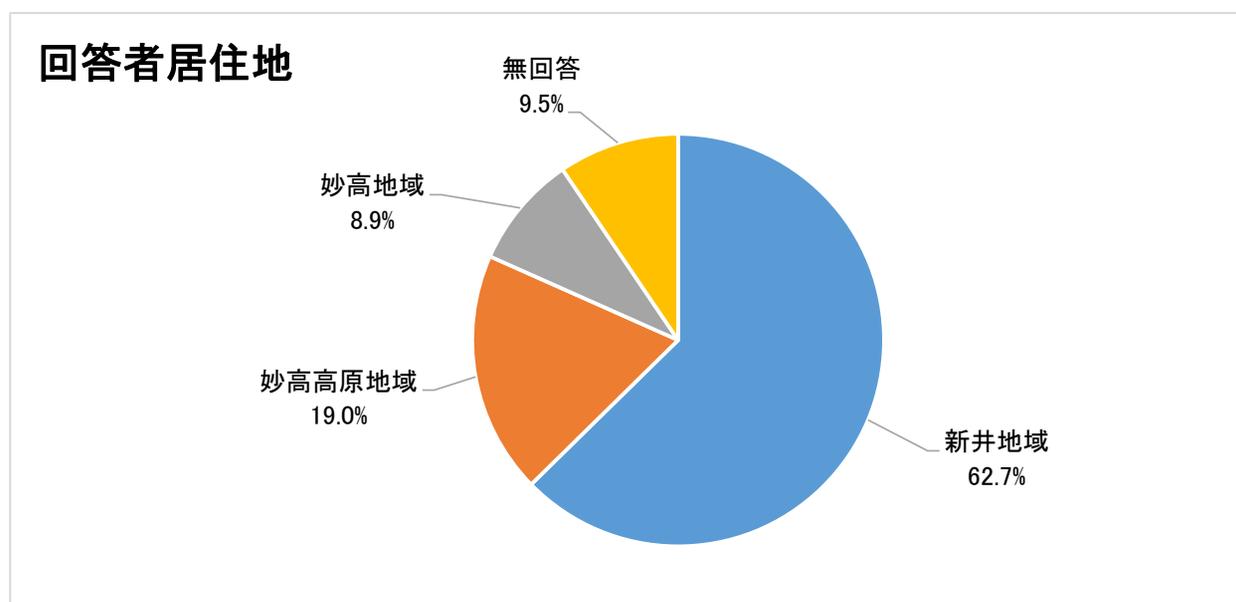
問17 妙高市の農業者と連携した取組みとして、実施したいもの(検討したいもの)は何ですか。(2つ)



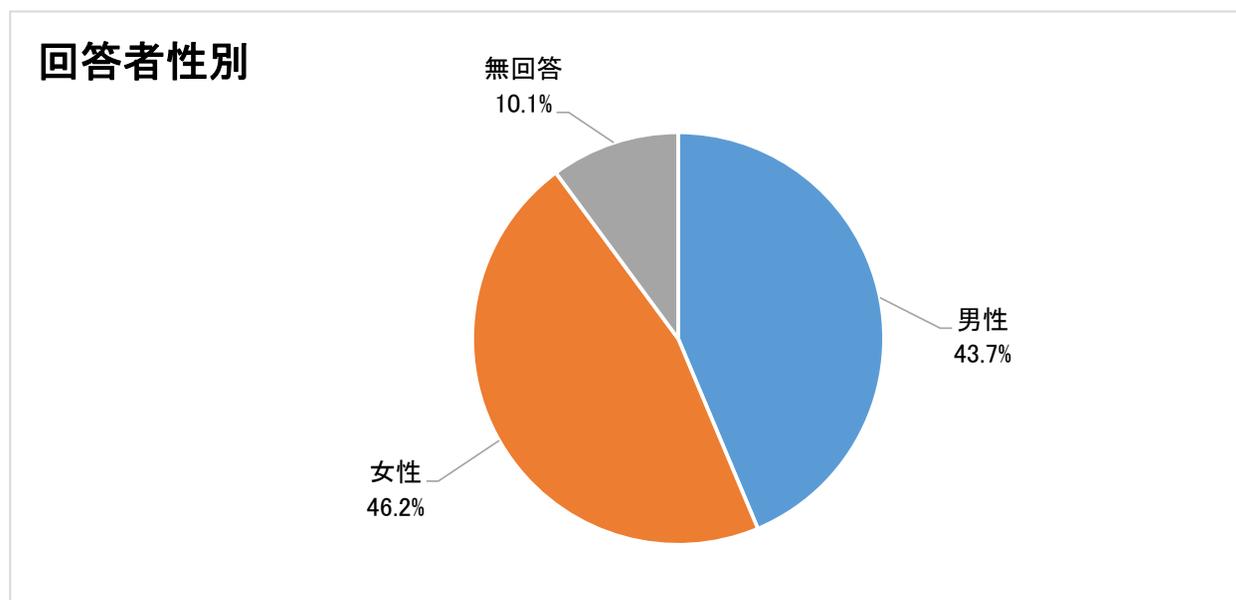
- ・全体としては、「農産物などの仕入れ」が53.9%で最も高くなっている。
- ・業種別にみると、宿泊業、飲食業では「農産物などの仕入れ」が、食品製造業では「地域資源(自然、歴史、文化など)の保全・継承」が、福祉事業では「農産物などを活かした商品開発(加工品、メニュー、旅行商品などの開発)」が最も高くなっている。

<<あなた自身のことについて、おたずねします>>

問18 あなたの住んでいる地域は、どこですか。

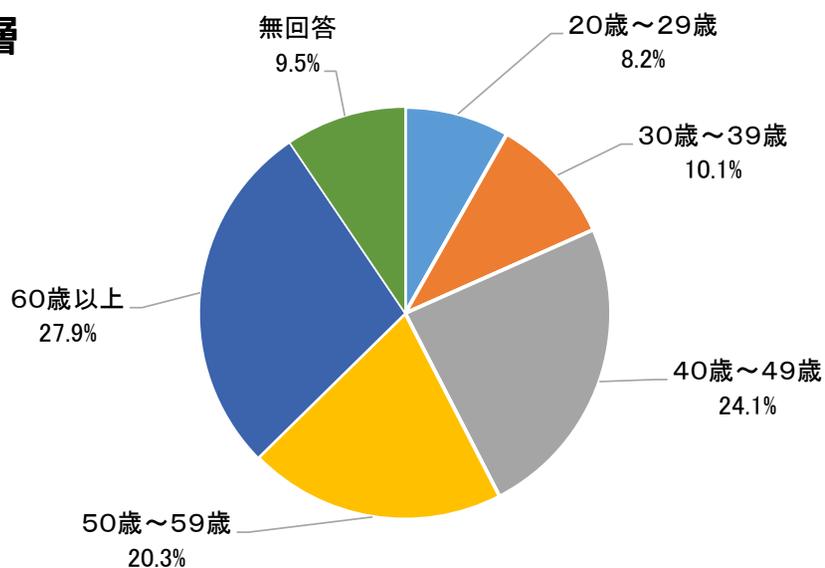


問19 あなたの性別は、どちらですか。



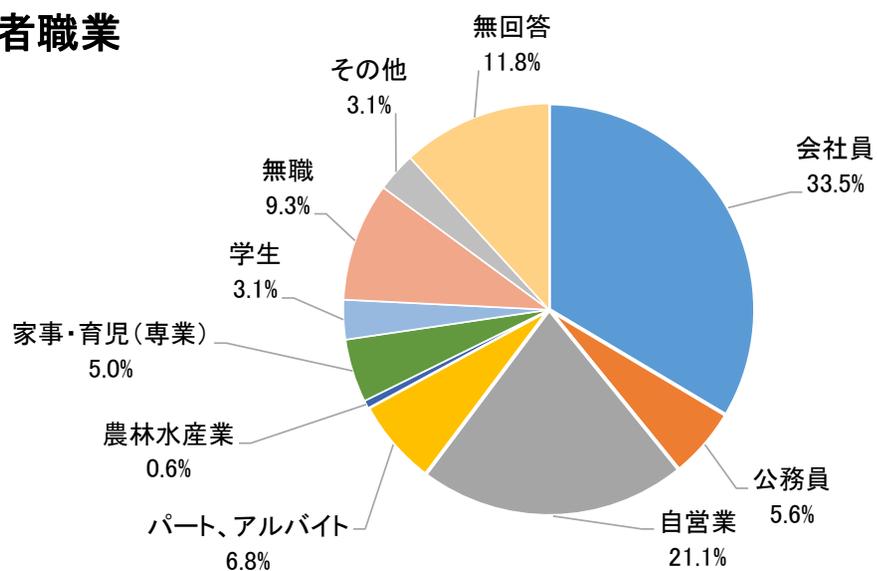
問20 あなたの年齢は、いくつですか。

回答者年齢層



問21 あなたの職業は、何ですか。

回答者職業



問22 あなたの業種は、何ですか。(観光業者、商工業者のみ)

回答者業種
(観光業者、商工業者のみ)

